

## リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

印西市立印西中学校（千葉県）【指定校】

## 【GIGA×指導の工夫・改善】 スプレッドシートを活用した学習状況のリアルタイムな把握

## &lt;考察&gt;

「活用のある自立語」の学習では、動詞・形容詞・形容動詞の特徴とともに「活用表」の作り方などを学んでいく。文法の学習の中でも、この段階でつまずく生徒が多いため、生徒の学習状況を的確に把握し、支援することが求められる単元である。そこで「リアルタイム」に生徒の学習状況を把握するために、プルダウンで簡単に選択できるスプレッドシートを作成した。このスプレッドシートは、主に4つのタイミングで見直す。

## 【授業はじめ】

自身の理解度合を改めて把握する。

## 【授業中（複数回）】

説明を聴いたり問題を解いたりする中で、自身の現状を選択する。**何度変えても良い。**

## 【授業終わり】

その時間の学習を振り返り、改めて自身の現状を記しておく。

## 【定期テスト前】

時間を空け、改めて振り返ることで定期テストの勉強に役立てる。

授業担当者はこのスプレッドシートを見ながら「苦戦中」としている生徒を中心に机間指導を行ったことで、生徒の困り感を逃さず支援にあたることができた。

## 中学校国語科 第2学年：「活用のある自立語」の学習

スプレッドシートの上段には、学習する「活用の種類」の名称と理解するべき「学習内容」が記載してある。生徒はこのスプレッドシートを用いて、自身の理解度合を「リアルタイム」にプルダウンで選択していく。  
選択は「自力でできる！」「助けがあればできる！」「苦戦中」の3項目。

| 上一段活用                                         | 下一段活用                                         | 力行変格活用                                                 | サ行変格活用                                                 | 形容詞                                | 形容動詞                                | 活用の見極め                        |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
| 上一段活用の動詞の活用表を作れるか、また作った上で活用の種類や活用形を正しく解答できるか。 | 下一段活用の動詞の活用表を作れるか、また作った上で活用の種類や活用形を正しく解答できるか。 | 特殊な変化をする力行変格活用の動詞の活用表を作れるか、また作った上で活用の種類や活用形を正しく解答できるか。 | 特殊な変化をするサ行変格活用の動詞の活用表を作れるか、また作った上で活用の種類や活用形を正しく解答できるか。 | 形容詞の活用表を作れるか、また作った上で活用形を正しく解答できるか。 | 形容動詞の活用表を作れるか、また作った上で活用形を正しく解答できるか。 | 活用の種類や活用形などを見極めて、問題を解くことできるか。 |
| 自力でできる！                                       | 自力でできる！                                       | 助けがあれば！                                                | 助けがあれば！                                                | 自力でできる！                            | 自力でできる！                             | 苦戦中...                        |
| 助けがあれば！                                       | 助けがあれば！                                       | 苦戦中...                                                 | 苦戦中...                                                 | 苦戦中...                             | 苦戦中...                              | 苦戦中...                        |
| 自力でできる！                                       | 自力でできる！                                       | 自力でできる！                                                | 自力でできる！                                                | 助けがあれば！                            | 助けがあれば！                             | 助けがあれば！                       |
| 自力でできる！                                       | 自力でできる！                                       | 自力でできる！                                                | 自力でできる！                                                | 自力でできる！                            | 自力でできる！                             | 自力でできる！                       |

- ★即時、指導が行えたことで生徒の知識の定着に繋がった。
- ★生徒同士でも学習状況を見合うことができるため、教室内のあちこちで自然と「教え合い」が発生した。

## リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

印西市立印西中学校（千葉県）【指定校】

## 【GIGA×指導の工夫・改善】 自らの成長を実感するためにスプレッドシートに学習状況を記録する

## ＜考察＞

本校の特別支援学級では、携帯ゲーム機を活用することがある。生徒が楽しみながら学べるようにという配慮もあるが、根本的に生徒の抱える問題、能力や特性が様々であることから、一斉の授業よりもゲーム機等を活用しながら個々で学習を進めた方が効率が良いからである。

具体的には「漢字」や「脳トレ」、「計算」練習をゲーム機のソフトを使って行っているが、特に「計算」においては、ゲームソフトであっても抵抗を示す生徒は多い。

そこで、「100マス計算ソフト」において四則計算を行い、Chromebookを活用しながら記録をとり、自身の成長を可視化していくことで、生徒1人ひとりの意欲を高めていく実践を行った。

自身の計算スピードや正答率はグラフ化されるため、活動後は生徒とともに分析を行う。間違いが多いのはどのような計算か、どう計算したらよりタイムが速くなるか、一緒に考えた上で次の学習に活かすようにした。そうすることで、それぞれの課題に応じた学習を進めることができた。

また、スプレッドシートでは他者の記録も参照できるようになっているため、生徒は競い合いながら取り組んだ。

これにより、紙ベースで同様の活動をやっている時よりも、計算のスピードも正答率も各段に向上させることができた。

## 特別支援教育：100マス計算で自己最高記録を目指す



100マス データ記録

let-hajimega-ed.jp アカウントを切り替える

名前 \*

選択 \*

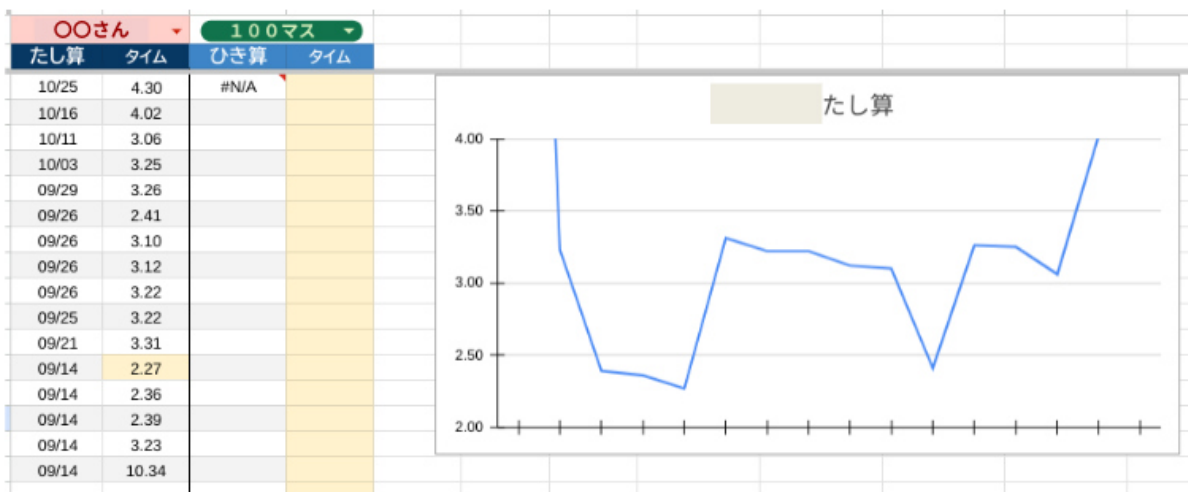
マス選択 \*

☐ 100マス  
☐ 50マス  
☐ 30マス  
☐ 25マス  
☐ 10マス  
☐ おいたん

計算の種類 \*

← 計測したタイムはgoogle  
フォームに打ち込む

Chromebookでタイムを測りながらゲーム機で計算を行う。計測したタイムをフォームに入力して送信すると、以下のように自動でスプレッドシートにまとまるようになっている。



- ★生徒は自身の得意・不得意を可視化することができた。
- ★生徒の特性を見て、生徒が指導の方法を工夫することができた。